



大崎市 農業委員会 だより

【第28号】

令和4年1月1日発行

編集・発行

大崎市農業委員会

〒989-6117

宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号

TEL 0229-21-0577

FAX 0229-22-8045

e-mail: nougyo@city.osaki.miyagi.jp



大崎市立大貫小学校の児童が育てた水稻のわらを活用し、地元の遠藤幸三子氏が虎の置物を制作

結びに、本年の干支「壬寅」（みずのえ・とら）は「陽氣を孕（はら）み春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になることを願い、市民皆さまの益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

その実現のためにも、「人・農地プラン」に積極的に取り組み、持続可能な農業の構築に向け本年も意欲的に努めて参る所存ですので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一、担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消及び新規参入の推進など農地利用の最適化を促進することが求められています。

そのため、農業委員と農地利用最適化推進委員は手を携え、担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消及び新規参入の推進など農地利用の最適化を促進することが求められています。

そのために、農業委員と農地利用最適化推進委員は手を携え、担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消及び新規参入の推進など農地利用の最適化を促進することが求められています。



あけましておめでとうございます。
謹んで新春のお慶びを申し上げます。
旧年中は農業委員会活動に格別なるご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年（令和3年）の水稲作況指数は一〇一となり、

一等米比率も高く、収量品質も良好でしたが、新型コロナウイルスの影響により業務用米の需要が減り、予期せぬ過剰在庫が発生しました。このため、概算金大幅に下落し、農業者にとっては農業経営の存続に関わる状況に置かれた不安と苛立ちが募る一年でありました。

持続可能な農業の構築に向けて

大崎市農業委員会 会長 佐々木 政直

農地に関するお知らせ

農地の権利を取得する際の 下限面積を引き下げます。

耕作を目的として農地の権利を取得するときは、農地法第3条の規定による農業委員会の許可が必要です。

許可にあたっては、いくつかの要件があり、そのうちのひとつとして経営農地面積を一定以上とする「下限面積要件」があります。

大崎市農業委員会では、令和3年11月25日に開催した定例総会で遊休農地の発生防止・解消及び新規参入の促進を図るため、次のとおり下限面積を引き下げることとしました。



別段面積の設定

設 定 区 域	設定面積（下限面積）	
	現 行	変更後
古川地域、松山地域、三本木地域、 鹿島台地域、岩出山地域、田尻地域	50アール	30アール
鳴子温泉地域	10アール（変更なし）	
空き家に付属した農地として指定された農地	1アール（変更なし）	

●適用日 令和4年4月1日から

農地法第3条申請における主な許可要件

農地法第3条に基づく許可を受けるためには、次のすべてを満たす必要があります。

- 申請農地を含め、所有している農地または借りている農地のすべてを効率的に耕作すること（効率利用要件）
- 法人の場合は、農地所有適格法人の要件を満たすこと（農地所有適格法人要件）
- 申請者または世帯員等が農作業に常時従事すること（農作業常時従事要件）
- 耕作する農地の合計面積が下限面積以上であること（下限面積要件）
- 申請農地の周辺の農地利用に影響を与えないこと（地域との調和要件）

大崎市農地賃借料情報

令和2年10月から令和3年9月までに締結（公告）された農地の賃貸借における賃借料水準（10a当たり）は、以下のとおりです。

1. 田 の 部

締結（公告）された地域名			平均額	最高額	最低額
古川地域	基盤整備地域	現金	17,000円	28,000円	12,000円
		物納	—	—	—
	未整備地域	現金	10,800円	18,000円	4,000円
		物納	—	—	—
松山地域	基盤整備地域	現金	15,600円	19,000円	14,000円
		物納	—	—	—
	未整備地域	現金	11,800円	15,000円	6,000円
		物納	—	—	—
三本木地域	基盤整備地域	現金	17,100円	20,000円	15,000円
		物納	—	—	—
	未整備地域	現金	11,100円	18,000円	5,000円
		物納	—	—	—
鹿島台地域	基盤整備地域	現金	14,500円	21,000円	5,000円
		物納	—	—	—
	未整備地域	現金	9,500円	15,000円	5,000円
		物納	—	—	—
岩出山地域	基盤整備地域	現金	15,300円	21,000円	5,000円
		物納	60kg	60kg	60kg
	未整備地域	現金	8,600円	12,000円	5,000円
		物納	56kg	60kg	46kg
鳴子温泉地域	基盤整備地域	現金	—	—	—
		物納	—	—	—
	未整備地域	現金	3,400円	3,400円	3,400円
		物納	31kg	52kg	23kg
田尻地域	基盤整備地域	現金	15,100円	20,000円	13,000円
		物納	—	—	—
	未整備地域	現金	10,900円	15,000円	5,000円
		物納	—	—	—
（参考）大崎市平均		現金	12,400円	—	—
		物納	49kg	—	—

2. 畑 の 部

締結（公告）された地域名		平均額	最高額	最低額
古川地域		7,000円	12,400円	3,000円
松山地域		—	—	—
三本木地域		11,000円	15,000円	5,000円
鹿島台地域		8,800円	15,000円	5,000円
岩出山地域		—	—	—
鳴子温泉地域		—	—	—
田尻地域		7,500円	10,000円	5,000円
（参考）大崎市平均		8,600円	—	—

※地域の平均に比べて著しく低額あるいは高額なものは除いてあります。

※金額は算出結果を四捨五入し100円単位としています。

※物納は算出結果を四捨五入しています。

農家の皆さんに役立つ 全国農業新聞

全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である農業委員会のネットワークが農業者の立場に立って編集・発行している“農家のための情報紙”で、紙面も充実しておりますので是非ご購入ください。

◎発行日 毎週金曜日
◎発行所 全国農業会議所
◎購読料 1か月700円
(年間8,400円：送料込)

お申し込み・お問い合わせは、
お近くの農業委員、農業委員会事務局(☎21-0577)までお願いします。

米価下落に伴う要請書を提出



昨年十月五日、大崎市に対し、令和三年産米価の大幅下落で苦境に立たされる稲作農家の支援を求める緊急要請を行いました。
佐々木政直会長と熊谷安正会長職務代理者が大崎市農業委員会を代表して大崎市役所を訪れ、伊藤康志大崎市長に要請書を提出し、米の需給改善対策や金融支援策を早急に講じるよう要望しました。

市長へ農業振興策に関する政策提案書を提出



昨年十月二十七日、大崎市農業委員会は、農業委員・農地利用最適化推進委員会を始め、一日女性農業委員会で行った意見を集約し、「大崎市の農業振興策に関する政策提案」として次の七項目を、伊藤市長に提出しました。

- ① 米価下落に対する緊急対策
- ② 農地中間管理機構との連携、強化
- ③ 農地の有効利用・遊休農地解消対策
- ④ 新規就農者の確保・担い手の育成対策・女性農業者が活躍できる環境づくり
- ⑤ 大崎市の特徴ある農業のPR・情報発信
- ⑥ 有害鳥獣駆除対策
- ⑦ その他（防災減災対策、雇用の創出と地域活性化）

農地等利用状況調査を実施

遊休農地や農地の無断転用の実態を把握するため、昨年七月から九月にかけて農業委員・農地利用最適化推進委員会による農地等利用状況調査を実施しました。調査の結果、新たな遊休農地や無断転用が疑われる農地が確認されました。

農地を管理せずに放置し続けた場合、病害虫の発生を招きやすくなるほか、有害鳥獣の隠れ場やゴミの不法投棄場所にもなりやすく、さらには、火災や交通事故の原因にもなりかねません。

健全な農地の維持と有効活用を図るため、今後、該当農地の所有者・使用者への指導を行うほか、無断転用についても指導を行います。



わくわく農業体験!!



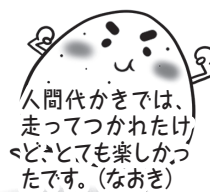
田尻地域 大崎市立大貫小学校

「米作りを通して生物多様性を学ぶ」 5年生

4月 種まき



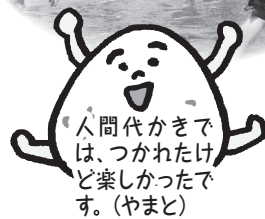
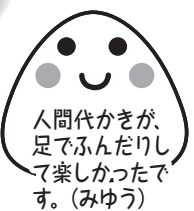
6月 人間代かき



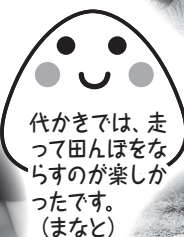
6月 田植え



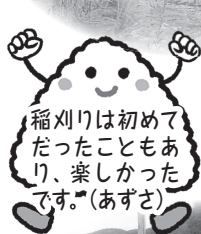
6月 竹箒(たけほうき)除草



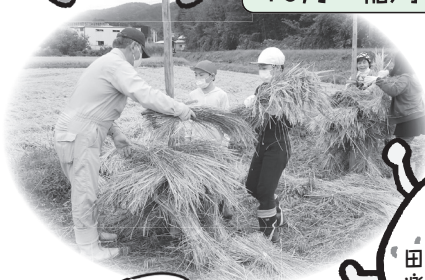
7月 田んぼの生き物調査



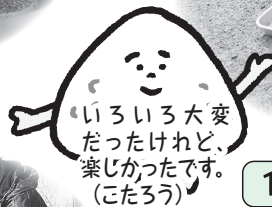
9月 救荒雑草調査



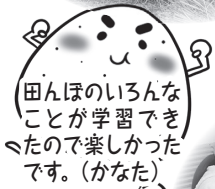
10月 稲刈り



11月 脱穀



1月 居久根調査



収穫した米は、塩むすびにして頬張りました。



大崎市社会福祉協議会へ寄贈する活動も行っています。

取材 菅 原 ひろみ 委員

NPO法人田んぼ(田尻大貫)の全面協力のもと、米作りを通して生物多様性について学ぶ活動を行っています。田植えや稲刈りは学校支援ボランティアの協力もいただいています。



チャレンジ農業女子

古川地域 大友真 希さん



今回は古川師山地区で野菜を栽培している就農三年目の笑顔が素敵な大友真希さんをご紹介します！

問 農業に興味を持ち携わったきっかけは？

答 母が野菜を作っている姿を見ているうちに面白そうだなと思っていたことがきっかけで、転職を機に思い切って農業大学の研修制度を利用して農業の世界に飛び込みました。

問 経営内容は？

答 主にネギ栽培を軸に、その他色々な品目の野菜を栽培しています。栽培してみたい野菜を毎年考え試行錯誤しています。

問 農業をやっていて大変だと思うことは？

答 毎年天候が違うので、それに合わせて栽培しなければいけないのが大変です。また、価格の変動なども年によって違うので予測するのが難しいところです。

問 農業をやっていて良かったと思うことは？

答 全て自分で計画を立てて仕事ができることです。失敗もありますが、自分で修正し成功した時には嬉しさや達成感があります。また、野菜部会や直売イベントにも参加することで多くの人と交流でき、色々な意見を聞きながら活動で楽しいです。

問 今後の抱負は？

答 これから知識や経験を増やして高品質の野菜を消費者の皆さんに届けたいです。是非、おいしい古川の野菜を食べてください！

最近の異常気象やコロナ禍で農作物の栽培や販売は予測しづらく難しい判断が迫られる事が多くなってきましたが、若手農業者が増えることで農業の活性化が促進されることを期待したいと思います。

取材 佐々木 俊通 委員

第6回宮城県農業委員会大会で受賞

昨年、11月11日に開催された第6回宮城県農業委員会大会において、長年の活動実績が認められ大崎市農業委員会から1名の農業委員と2名の農地利用最適化推進委員が受賞されました。

受賞者

【宮城県知事感謝状表彰】

横山 藏人氏（農業委員）

【一般社団法人宮城県農業会議会長表彰】

三塚 秀一氏（農地利用最適化推進委員）

佐々木 良一氏（農地利用最適化推進委員）



横山 藏人氏



三塚 秀一氏



佐々木 良一氏





がんばる農業者

古川地域 (株)てくてくファーム 代表 佐藤 雅 俊さん



今回のがんばる農業者は、古川荒谷地区の農業生産法人「(株)てくてくファーム」佐藤雅俊さんを紹介します。主な経営内容は、野菜を生産しており、構成員は、家族三名、従業員九名です。

問 就農年齢は？

答 就農は二十一歳で、農業生産法人設立は三十歳です。

問 作付している作物は？

答 施設栽培：ナス、レタス、ミニトマト、スナップエンドウ
露地栽培：ブロッコリー

問 就農したきっかけは？

答 父親から勧められて農業をしてみようと思いましたが、農業の知識が少なく、農業短大に入学しました。また種子業者や同業者のもとで研修などを通して、

て、周りの方々に支えられながら少しずつ知識や自信を付けてくる事ができました。

問 農業をして良かった事は？

答 失敗した事が沢山ありましたが、自分で考えて栽培した作物が良くできた時が凄く嬉しいんです。判らない事や忙しい時に助けてくれる方々が身近にいてくれて心強く感じました。

問 今後、チャレンジしてみたい事は？

答 農業の規模拡大ができたかと思っています。しかし、資材の高騰や不安定な作物価格等で悩んでいます。資金面が安定できればチャレンジしてみたいです。

これまで、仕事ができただけは知人や近隣の方々のおかげです。まずは、地域貢献をしてお世話になった方々に恩返しができればと思います。

新しい事にチャレンジしてみたいが、資材の高騰や不安定な作物価格等で思うようにできないのが現実。雅俊さんのような、農業を担う若者がこの先も安心して農業が続けられ、発展できるような世の中になって欲しいと思います。

取材 小野寺 正晃 委員



おらほのはなし

古川地域

「高倉薬(ひこばえ)太鼓」

高倉薬太鼓は、平成三年に高倉小学校のPTAにおいて「高倉こども太鼓サークル」として発足しました。

その翌年から大人の部も創設され、加美町の菜鳴太鼓の柴田さんから指導を受けていました。「大人の部と言っても、最初は私一人で市民会館で披露したんです」と、高倉地区太鼓連絡協議会の門脇会長は笑って話していました。その後、大人の部では全国大会に出場するようになり、会員も六名に増え、やがて会員が子供の指導をするようになっていきました。

その後、中学・高校生の部が創設されたほか、平成十年の「ふるかわ市民創作劇場」に出演した際に、劇中で平和な村に起きた災害に絶望する村人達が、落雷で倒れた銀杏から吹いた若い芽「ひこばえ」から希望を与えられた場面に感銘したことから、苦境の中でも芽を吹く薬のように力強く生きるようにと、平成十一年に高倉薬太鼓と命名しました。今では世代間の枠はなく、活動しています。

現在の会員数は小学生から社会人まで十六名程です。以前までは週二回以上練習し、大会や講演等には年間四十回程参加していました。コロナ禍で活動できない状況でしたが、昨年の夏頃から少しずつ活動を再開しています。

これから先は、一刻も早く元の活動規模に戻るようになって欲しいことと、会を存続していくために学生の方等の若い人達に是非、高倉薬太鼓を知ってもらい、できれば参加していただきたいとのことです。

取材 鈴木 至 委員

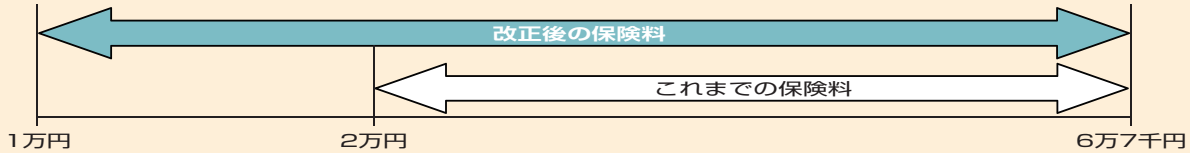
◆問い合わせ先…高倉地区太鼓連絡協議会 門脇勝文会長
(電話) 090-2886-0081
SNSも開設しています。

農業者年金制度が改正されます

平成14年1月から始まった新たな年金事業（新制度）のみが対象となります。

保険料の納付下限額の引き下げ（令和4年1月1日から）

35歳未満で認定農業者に該当しない等一定の要件を満たす方は、1万円から（上限6万7千円）でも通常加入できるようになります。（保険料の納付下限額が2万円から1万円に引き下げられます。）



農業者年金受給者の声



鹿島台地域
下山勝男さん

下山勝男さんはお米作りが何よりの生き甲斐で、八十三歳の今もお二ヘクタールの水田を耕作されています。田植えと稲刈りは委託されていますが、育苗や水管理、草刈に耕起作業は一人でこなしています。

農業者年金の加入は制度発足時に、当時の農業委員より勧められました。現在県外の大学に通うお孫さんに、年金からお小遣いを渡すのが楽しみでしたが、コロナ禍でなかなか帰省できず会えないのが寂しいとのこと。また、同居する娘夫婦の収入にも少なからずコロナ禍の影響がありました。が、この不測の事態にも農業者年金と国民年金のおかげで、多少なりとも家族の支えになれていることに、つくづく加入していて良かったと実感されていました。

「孫が大学院を目指しているの、卒業するまではまだまだ現役です」と穏やかな笑みを浮かべ、六年前にお亡くなりになられた奥様のお気に入りだった帽子を被り、今日も元気に田んぼの見回りに向かわれる姿がとても印象的でした。

取材 下山 信行 委員

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年、一昨年と世界中が新型コロナウイルスに翻弄された。これまでの環境が一変しました。できなくなり、眼に見えないウイルスとの戦いの日々でした。第六波が襲来の恐れがあり心配されるところです。

さて、昨年の米価もこれまでにないほど下落し、農業経営者は皆肩を落としております。我々は農業に従事する皆さまに笑顔を取り戻してもらうために如何なる手立てをすべきか協議し、真剣に取り組みなければならぬ時期にきています。

これからは今の生活を維持しながら一日も早く皆さまと笑顔で暮らせるよう心掛け、精進して世界農業遺産のこの大崎耕土を守り続けて行きましょう。

菅原 まり子

編集：企画広報委員会

委員長	布塚 幸子
副委員長	小野寺 正晃
委員	鈴木 淳也
委員	菅原 信行
委員	下山 俊通
委員	佐々木 英理子
委員	高橋 蔵人
委員	横山 ひろみ
委員	菅原 正幸
委員	鈴木 正幸
委員	小野寺 正晃
委員	布塚 幸子

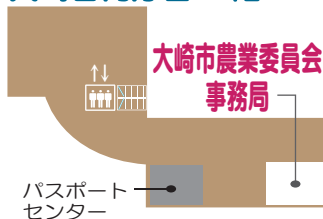
大崎市農業委員会事務局組織機構

農業委員会事務局
(宮城県大崎合同庁舎内)
☎21-0577

※農業委員会関係諸証明のほかに下記証明書の交付ができます。

- 住民票
- 印鑑登録証明書
- 農耕用機械所有証明書

大崎合同庁舎 2 階



松山事務所
(松山総合支所内)
☎55-4912

鹿島台事務所
(鹿島台総合支所内)
☎56-6510

鳴子事務所
(鳴子総合支所内)
☎82-2026

三本木事務所
(三本木総合支所内)
☎52-5832

岩出山事務所
(岩出山総合支所内)
☎72-1444

田尻事務所
(田尻総合支所内)
☎39-3060

お詫びと
訂正

「大崎市農業委員会だより」第27号（令和3年9月1日発行）表紙に掲載しました内容について次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤）「誠実・勤儉・協同一致」 正）「誠実・勤儉・共同一致」